

平成18年11月1日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表執行役社長 ティエリー ポルテ
(コード番号: 8303 東証第一部)

平成19年3月期中間期連結業績予想について
- シンキの業績修正に伴う影響は限定的 -

本日、当行持分法適用会社(発行済み普通株式数の36.4%保有)であるシンキ株式会社(以下「シンキ」)が、同社平成19年3月期中間期業績予想の修正を発表いたしました。当行の平成19年3月期中間期連結業績予想への影響は限定的であり、業績予想の修正は行いません。

シンキは、平成19年3月期中間期の業績予想で、連結中間純利益を23億円から151億円の赤字に修正しましたが、これを含めた場合も、当行は、平成19年3月期中間期連結業績予想の400億円に対して、95%以上を達成する見通しです。

今回のシンキの業績予想の修正は、日本公認会計士協会が平成18年10月13日に公表した「消費者金融会社等の利息返還請求による損失に係る引当金の計上に関する監査上の取扱い」を踏まえ、「利息返還損失引当金」および「貸倒引当金」の設定方法を見直し、将来の利息返還請求リスクに対する引当金として170億円の計上を行うことなどによるものです。

消費者金融事業を取り巻く厳しい環境にもかかわらず、当行は効率性を重視し、長期的・安定的な成長を図るために、新しいビジネスモデルの確立に取り組んでいます。現在の市場環境を踏まえ、継続的な合理化、より効率的な事務処理システムの導入、厳格なリスク管理の実施に取り組んでいます。

当行は引き続き、インスティテューショナルバンキング、コンシューマーアンドコマースファイナンス、リテールバンキングを3つの戦略分野とし、ビジネスと収益の多様化に取り組み、長期的な収益の成長を目指してまいります。

以 上